

## 個人質問通告表

令和6年第2回姶良市議会定例会（6月21日）

11. 森川 和美	1. 教育行政について	(1) 熱中症対策と災害時の避難所機能強化を図るため、小中学校の体育館へのエアコン設置についての見解を問う。  (2) 複数の小中学校で生徒数の増加で、教室が足りず、これまでプレハブで対応してきたが、これから数年これらの状況は続くと考えるが、学校あり方検討委員会及び校区見直し等検討する時期にきていると思うが、見解を問う。	教育長
	2. 空き家対策について	全国的に空き家は年々増加し続いている。本市も同じ状況で、いっこうに空き家は減らない。  その一番の要因として、老朽化した空き家を取り壊した場合に、土地にかかる固定資産税が高くなる。すなわち、空き家を取り壊すと土地にかかる固定資産税などを減額する「住宅用地特例」が適用されなくなり、税額が高くなる。  そこで以下を問う。  (1) 除却した翌年度からかかる固定資産税の増額分最大5年間減免する考えはないか。 (2) 空き家を購入する場合50万～100万円補助する考えはないか。	市長
	3. 在宅保育、在宅医療、在宅介護支援について	(1) 在宅保育世帯に手厚く支援すべきだ。現状と在宅保育世帯の数は把握しているか。  (2) 在宅医療、在宅介護が今後重要な役割を果たす時代に入る。  住み慣れた自宅で家族と一緒に生活しながら医療介護を受けて生活することである。  本市の状況とこれからの施策を問	市長

	4. 市役所2号館横の駐車場について	<p>う。</p> <p>この駐車場管理の方向性について、昨年9月の私の質問の回答については、今後の方針として、新庁舎建設後、姶良本庁舎への来庁者はさらに増加するものと見込んでおり、当該駐車場における来庁者優先の方針は変わらないが、市民の利便性の向上や本庁舎周辺地域の活性化等に鑑み、将来的には市営駐車場（市役所来庁者は一定時間無料、その他は有料）へ転換することについて、庁内での検討を指示した。との内容であった。それから約10か月経過したが、どのような検討がなされたか。</p> <p>周辺の飲食店及び従業員、来店者は悲鳴を上げている。共存共栄及び周辺地域の活性化等から早急に方向性を期待するものである。</p>	市長
12. 堀 広子	1. 学校給食無償化と有機農産物の活用促進について	<p>(1) 学校給食費無償化は、今年4月から鹿屋市や曾於市、いちき串木野市など、自治体に広がっている。</p> <p>学校給食費の保護者負担軽減を政策的に進める取組を求めるがどうか。</p> <p>(2) 学校給食の地産地消の推進策はどのように議論され、対策を行おうとしているのか。</p> <p>(3) 全国で学校給食の有機化に向けた動きが活発化している。本市でも取組を学び、進めるべきではないか。</p> <p>(4) 農水省の「みどりの食料システム戦略」は有機農業の面積を1万haから約100万haに拡大する目標を掲げ、有機農業の産地づくりを促進している。県内の実施状況と本市の取組状況を示せ。</p> <p>(5) 学校給食で使用する食材は買取な</p>	市長 教育長

	<p>2. 高齢者等ごみ出し困難者支援事業について</p> <p>3. 障がい者と合理的配慮について</p>	<p>どによる価格保証で生産農家を育成し、実施する考えはないか。</p> <p>収集所まで自らごみ出しが困難な高齢者や障害者を対象に自宅を訪問し、収集支援する事業である。</p> <p>昨年の議会質問で一定の準備期間が必要なため、第6次実施計画で努力していくことであった。これまでの進捗状況と実施時期について問う。</p> <p>(1)事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化された。市民や企業への周知や推進の働きかけはどのように行っているのか。</p> <p>(2)今後、事業者からの相談対応はどうどのように行うのか。</p>	市長
13. 峯下 洋	<p>1. 姶良市の人口減少対策について</p> <p>2. 校区コミュニティの益々の発展を期待するが、今後の施策を問う</p>	<p>姶良市は県内で唯一人口が増えている市であることは承知している。しかし、日本全体としては人口減少が避けられないと言われている。一方で、自治体によっては人口増加を実現している市もあると報道で聞く。姶良市の市民として、ぜひとも我が市もそのようになってほしいと願っている。そこで市として人口減少を食い止め、さらに増やしていくための施策を問う。</p> <p>(1) 17の校区コミュニティができるから10年以上経過しているが、校区ごとの取組にはらつきがあると感じている。市長はこの状況をどのように捉えているのか問う。</p> <p>(2) 自治会との一体感や協力体制について、また市としての情報共有や提案がどのように行われているか問う。</p> <p>(3) 松原なぎさ校区では「なぎさ未来</p>	市長 教育長

		<p>塾・ひまわりわいわい食堂」など地域に根差した行事を行っている。研修に来て肌で感じることも必要だと思うがどうか。</p> <p>3. 道路の庭木問題について</p> <p>民家の庭木が道路に出て歩行者に迷惑をかけるような場所が見受けられる。庭木の管理について広報誌等で周知させることはできないか問う。</p>	市長
14. 有川 洋美	<p>1. 男女共同参画について</p> <p>(1) 每年取り組まれている女性活躍推進事業は今年度は57万7千円の予算計上となっている。事業内容は「女性がその個性と能力を発揮し、男女が共に安心していきいきと働くために必要な広報・啓発を行う」となっている。具体的にどのようなことを今まで行い、今後行なっていくのか。</p> <p>(2) 正規職員、会計年度任用職員におけるそれぞれの女性比率を問う。</p> <p>(3) 女性管理職の登用率を問う。</p> <p>(4) 女性管理職の登用率を上げるためにどのようなことを行なっているのか。</p> <p>2. 男女混合名簿（性別によらない名簿）導入について</p> <p>日本国憲法第14条「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」とされている。しかし、日本において、男女平等が完全に達成されているとは、言い難い。性別によって差別されない又は差別しない、という心を育てる上で、学校での体験はたいへん重要で</p>	<p>始良市男女共同参画推進条例は平成22年に制定された。市においての男女共同参画推進について以下を問う。</p>	市長 教育長

	<p>あると考える。</p> <p>男女混合名簿はその取組の一つとして有効であり、市としても積極的に推奨してはどうか。市内小中学校における男女混合名簿の導入実施状況と市の考え方を問う。</p> <p><b>3. 教員の教科書・指導書について</b></p> <p>義務教育教科書無償給与制度のもと児童生徒の教科書は無償である。</p> <p>教員が児童生徒に指導する際には教科書と指導書が必須であるが、市内の小中学校において、教科書・指導書が足りずコピーを取り指導にあたっているという話も聞いた。児童生徒が充分な教育を受けるためには、市は教師のための教科書・指導書を不備なく揃え、環境整備に努めるべきであると考える。</p> <p>そこで以下について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科書・指導書の管理体制を説明せよ。</li> <li>(2) 教科書・指導書が足りずコピーを取っている現状をどのように考えるか。</li> <li>(3) 外国語指導助手(ALT)用の教科書や指導書の整備はなされているのか。</li> <li>(4) 市において、現場のニーズを把握した教科書・指導書購入の取り組みはあるのか。ないのであれば、教科書指導書購入事業として取り組む考えはないか。</li> </ul>	教育長
--	--	-----